

路線毎の状況、見直し案【馬室コース】

(1) 現況・課題

■利用者数（令和1・2・4年度調査結果より）

① R1・2・4年度の累計で利用者0の停留所	中座
② R1・2・4年度の累計で利用者が1人以上5人未満の停留所	鴻巣駅入口、中央三丁目
③ R2年度～R4年度で利用者が減少しているかつ R4年度の利用者が1人以下の停留所	中央三丁目、白雲荘、馬室陸橋、下間、逆川一丁目
④ 支線的なルート上にある停留所	妙楽寺入口、白雲荘
⑤ R2年度～R4年度で利用者が増加している停留所	北本駅西口、西高尾二丁目、西高尾五丁目、西高尾郵便局前、小原、松原小入口、松原二丁目、大栄団地、大栄一号公園、小松団地、小松二丁目、太子堂、地藏堂、観音堂、富士見保育所入口、鴻中陸橋西
⑥ 朝夕（朝9時着まで、夕方17時発以降）の利用者割合が7割以上の停留所（R1・2・4年度の累計）	該当なし

■近年の苦情・要望等（市役所担当窓口及び電話、市長へのメール、HPからの問い合わせ）

バス停設置、乗入れ要望（こうほく腎泌尿器科クリニック、カスミ原馬室店）

■R4年アンケート調査の自由意見

バス停設置、乗入れ要望（買物施設）

■見直しに関する環境変化等

・該当なし

(2) 見直し案

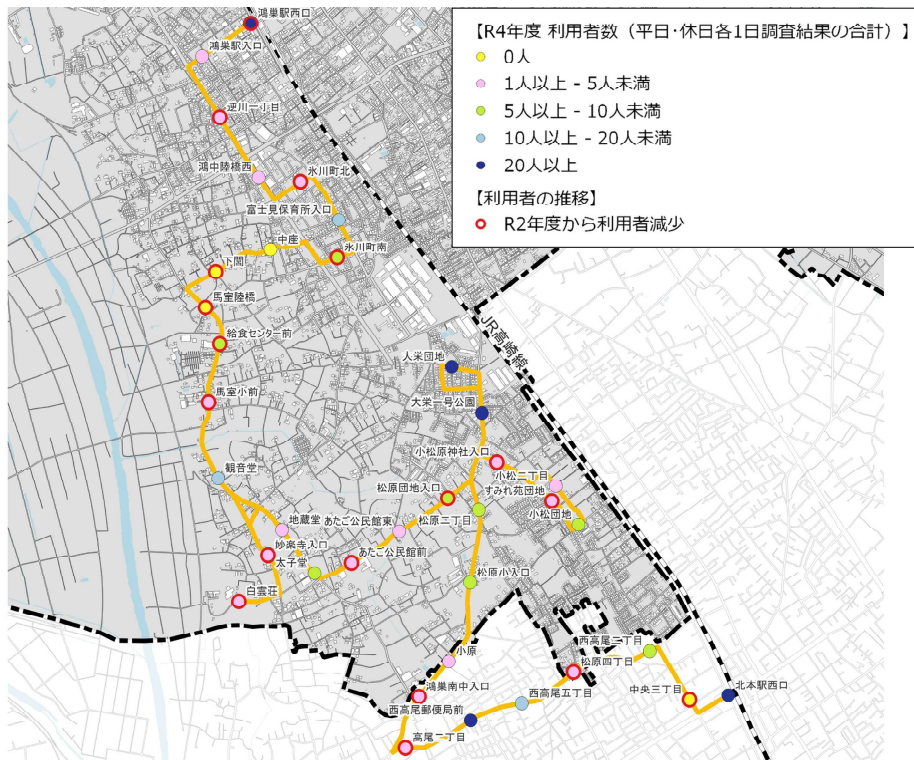
■見直しの方向性

- ・利用者が比較的に少ない停留所や近年減少傾向の停留所は、「中座」「鴻巣駅入口」「中央三丁目」「白雲荘」「馬室陸橋」「下間」「逆川一丁目」が該当する。
- ・このうち、「中座」「下間」「馬室陸橋」は、周辺にバスが通行可能な幅員の道路がなく、ルート延長を短縮する代替ルートの設定が困難であるため、現行とおり存続させる。
- ・「鴻巣駅入口」「中央三丁目」等は、停留所を廃止してもルートは現行のままとなり、見直しによる利便性の向上・経費削減等の効果がないため、現行とおり存続させる。
- ・「妙楽寺入口」「白雲荘」は、支線的なルート上にある停留所でもあり、廃止した場合のルート短縮効果が想定されるが、高齢者が利用する公共施設であるため、廃止は行わず運行本数の見直しを行う。
- ・近年の要望及びアンケート調査の中で、ピアシティ原馬室を含む買物施設への乗入れを求める意見が挙げられているが、周辺道路の幅員が狭いことから、道路の延伸状況により次回の見直しとする。
- ・こうほく腎泌尿器科クリニックへの停留所設置要望が挙げられているが、付近には「松原二丁目」バス停があるため、見直しを行わない。

■見直し案

妙楽寺入口、白雲荘の区間について運行本数を減便する（平日11便、休日10便→全日6便程度へ）

（令和4年度利用状況）



（令和元年～4年度利用状況、路線の課題・見直し案）

